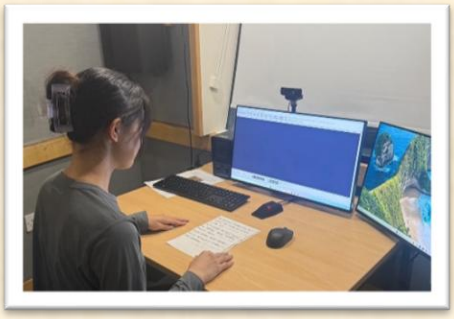
情報コミュニケーション学部「国際交流（イギリス）」
２０２５年度　実施報告

情報コミュニケーション学部設置科目「国際交流（イギリス）」の履修者６名がロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）のサマープログラムに参加しました。



SOAS
University of London







【参加者】

１年生	２年生	３年生	４年生	計
０人	４人	１人	１人	６人

【参加ブロック】

ブロック１ 7/7-7/25	ブロック２ 7/28-8/15	ブロック３ 8/18-9/5	ブロック１&２ 7/8-8/15
１人	１人	３人	１人

【参加コース】

コース名	参加者
English Language Skills	３人
Art of the World	１人
Environment, Development and Changing World Views	１人
Global Business Strategy	１人
Introduction to the Media	１人

明治大学情報コミュニケーション学部
2025 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　2 年生・女性

渡航に関する情報

渡航期間
8 月 14 日　～　9 月 21 日
渡航経路
直行便　/　(経由便) **経路：成田（東京）―　スワンナプーム（バンコク）　―　ヒースロー（ロンドン）** **ローマ（イタリア）　―　上海（中国）　―　羽田（東京）**
利用した航空会社
Thai Airways、China Eastern Airlines
航空運賃合計額
£1,175.1　／　約 245,000 円

プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック 3（8/18～9/5）	
参加コース名	
English Language Skills	
プログラム費	**寮費（円もしくはポンドで記入してください）**
1,980 ポンド/1 ブロック	**£770　（約 160,000 円）**
寮滞在日数	
8 月 15 日　～　9 月 6 日　（22 泊 23 日）	

その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	**約 60,000 円**
海外旅行保険費用	**11,212 円（39 日間）**
交通費	**約 35,000 円**
娯楽費	**約 40,000 円**
その他（　　）	

滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
一日の中に晴れと曇りと雨があり、体感温度も数時間おきに大きく変化するので、上着を持ち歩くのがよいかと思います。ロンドンは雨のイメージが強かったのですが、よほどの雨でなければ傘をさすことはないので、ひどい雨予報でなければ持ち歩く必要はないと感じました。 また、かなりの暑がりなのでタンクトップを持っていきましたがそれだけで外出することは一度もなかったです。ブロック後半は最高気温 20 度、最低気温 13 度ほどでした。

治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
夜中でない限り基本的にどこも安全だと感じました。 North Lodge（Tottenham Hale Station）に滞在していたのですが、夜中に女性同士が叫びながら殴り合いの喧嘩をしていたり、休日前の夜は大音量の音楽が流れていたりと趣深かったです。ただ、本当に夜中に出歩かなければ何も問題はないと思います。 稀に昼でも大麻の匂いがする場所（公園や路地など）がありました。 また、日本にいるときのテンションで人助けをしようとすると、大抵困っているふりをした物乞いでお金を要求されます。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
フライト用にのどぬーるマスク、簡易スリッパ（or サンダル)、着圧ソックスを強くおすすめします。また寮生活では爪切りと掃除用のコロコロに救われました。

プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
大学入学時は特段海外留学に対する意識はなかったのですが、第二外国語のスペイン語に熱中するうちにヨーロッパ諸国への興味がわいたことがきっかけです。3/4 年次の半年間の交換留学を目標とし、まずは短期の留学を体験したいと思ったことから参加を決めました。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
特段準備はしませんでしたが、留学関連の授業（留学準備講座、留学のススメ）を履修しました。また、普段の必修英語の授業では以前より集中して受けるようにしていました。
参加コースを選んだ理由
初めての海外ということもあり、英語力にも自信がなかったため一番無難そうなコースを選択しました。

授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	9 人
授業内容を教えてください。	
午前(10-12 時)は Reading と Writing、午後（13-14 時）は Listening と Speaking でした。2 日に 1 回ほど、100-150 Words の日記を送り翌日の午前のクラスでその添削をしてもらっていました。現地の新聞を使ったアクティビティや、世俗的な内容も多く興味深かったです。 午後のクラスでは最終的な目標をグループプレゼンテーションとしていました。 しかし、先生とブロックによって内容が大きく異なるようです。	
授業のレベルを教えてください。	
Block3 は日本人が多く、想像していたよりも易しいレベルの授業でした。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
毎週水曜日はクラスでマーケットや美術館へ外出し、インタビュー等を行いました。 実際に観光地に行きコミュニケーションをとることは留学でなくともできますが、目的をもって人と対話するのは面白かったです。	
プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。	
TOEIC や IELTS などの英語に対する意識が高まり、Listening と Speaking は 1 人の勉強に限界があるので、日本にいる英語話者の人々ともっと関わりを持ちたいと思いました。 そして現地で伸ばした積極性を忘れずに、これからも活力的でいたいと思います。	

その他

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
まず寮（North Lodge）に到着して驚いたのは、家具がマットレスしかなかったことです。事前に生活用品込みのキットを購入することができるのですが、比較的割高です。使わないようなものも多く、結局トイレットペーパー、ティッシュ、さらにバスマットまで買いにいくことになったので、キットではなく現地で全てそろえたほうが良かったように思います。 私のフラットは共用キッチンがありえないくらい汚く、ゴミ箱をあけたらハエが飛び出してきてうじ虫が死んでいました。韓国人のフラットメイトの部屋のシャワーは火傷レベルの熱湯しか出ませんでした。ブラインドがしまらない部屋もありました。そのようなトラブルだらけなので、もし自身が何か不便を感じたら直ちにレセプションに報告すべきです。 しかし North Lodge は寮から大学まで 30 分程度と立地もよく、駅前に大型スーパーもあり、他の寮と違って日本人が少なく外国人の友人ができることがこの寮の魅力です。SOAS から提案された最も近い寮（Dinwiddy House）はフラット内が全員日本人ということも多々あったようです。 交通機関に関してですが、週 6 以上の外出をするならクレカではなくオイスターカード（日本の Suica や Pasmo のようなもの）を購入し、トラベルカードにするのがおすすめです。（North Lodge から Euston なら Zone1-3 で約 10,000 円/週） そして本当に外食が高いので、平日は大学の敷地内で配られているフリーミールで昼食代を節約することをおすすめします。 授業(English Language Skills)に関しては何の心配もいらないです。もう授業が始まったら受けるしかないので大丈夫です。 土日はイギリス内もしくはパリ等へ旅行へ行く人も多々いましたが、私はプログラム終了後に 2 週間かけてヨーロッパ旅行をし、ローマから日本に帰りました。

明治大学情報コミュニケーション学部
2025 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　２年生・男性

渡航に関する情報

渡航期間
７月４日　　～　８月２１日
渡航経路
直行便　/　(経由便) 経路：成田→アブダビ→ヒースロー　　ガドウィック→上海→成田
利用した航空会社
エティハド航空　中国東方空港
航空運賃合計額
28 万円

プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック１（7/7～7/25）、ブロック２（7/28～8/15）	
参加コース名	
Global Business Strategy、English Language Skills	
プログラム費	**寮費**（円もしくはポンドで記入してください）
3564 ポンド/２ブロック	1610 ポンド
寮滞在日数	
７月５日　～　８月２０日　（４４泊４５日）	

その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	25 万円
海外旅行保険費用	1 万円
交通費	10 万円
娯楽費	10 万円
その他（　　）	

滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
とても過ごしやすい、自分の行った期間は夜の 9 時ころでも明るかったので最初は生活感が合わなかった
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
良い
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
パソコンはマスト

プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
海外に行ってみたかった。生の英語を感じたかった。イギリス自体に興味があった。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
語学面では多少の準備はしたが現地のことはあまり調べたりはしなかった。知りすぎてもよくないと思ったので。
参加コースを選んだ理由
ビジネスに関しては単に自分が興味のある分野だったので。また将来英語使うならそのような場面で使う可能性が高いと思ったから。English skill に関しては英語で英語の授業を受けてみたかったから。

授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	**6 人前後**
授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）	
どちらもグループの作業が多かった。基本的にはクラスでペアを作りその人とその授業の間ペアワークをする形態だった。またブロックを通しての全体の課題としてパワポの発表があった。これはビジネスではペア、English skills では個人での発表だった。	
授業のレベルを教えてください。	
かなり高いと感じた。来年に向けて個人的な意見を言わせていただくと参加者の足きりはしっかりしたほうがいいと感じた。ペアワークの授業なので最低限のコミュニケーションができないとペアにも迷惑をかけてしまう可能性が高い。基本的にホームページに書いてあるレベルの表はあてにならない。ホームページでは English skills のほうがビジネスより簡単だと書いてあったが逆だと思う。少なくともホームページで書いてあった IELTS4.5 相当では確実にないと言い切れる。ビジネスは IELTS5.5 と書いてあったがもうすこし高いレベルだった。また、English skills は英語で英語の勉強をするため、名詞や形容詞などはもちろん文法用語の英語バージョンを覚えていないと厳しい。先生の英語はわかりやすく授業の理解自体は問題ないが、参加している他の学生たちのレベルが非常に高く専門的な話をされるとついていけない場面があった。自分の参加したグループだけかもしれないが 2 つのブロックどちらもハイレベルな生徒が多い印象だった。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
一日目と一週間を終えた後では授業を終えた後の疲労感がかなり違い、一週間でも成長を感じたことは一番印象に残っている。 英語のレベルが非常に高いため、短期間でも成長することができる。	
プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。	
前述したとおりレベルの高い学生が先生と普通に会話をしているのを見ると自分の英語力の不足を如実に感じ、さらなる英語力の向上のモチベーションになっている。特に会話、speaking の力が足りていないと感じた。今までの自分は学問としての英語だけ学んでいて言語としての英語はまだまだだと感じた。	

その他

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
特に英語圏での生活をしたことがない人にとっては自分と同じで英語に囲まれる日々に圧倒されるかもしれないが、どう転んでも自分の人生によい影響しか及ぼさない素晴らしい経験だと断言できます。

明治大学情報コミュニケーション学部
2025 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　２年生・男性

渡航に関する情報

渡航期間
７月５日　～　７月２７日
航経路
直行便　/　経由便 経路：成田（東京）―　アブダビ（UAE）　―　ヒースロー（ロンドン）
利用した航空会社
エティハド航空
航空運賃合計額
213,220 円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック１（7/7～7/25）	
参加コース名	
Art of the World in London	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	787.50 ポンド
寮滞在日数	
７月６日　～　７月２５日（１９泊２０日）	

その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	８万円
海外旅行保険費用	８,５３４円
交通費	３万円
娯楽費	９万円
その他（　　）	

滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
空気が乾燥していてすずしめだった。昼と夜は長袖でちょうどいいくらいだった。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
ホームレスの数が多くお金をねだられることもあった。ごみが散乱している場所も多く見受けられた。

持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
小さいショルダーバック パスポートやスマホ、財布を入れて胸あたりにつけた。すぐ取り出せるかつスリ対策にもなって便利だった。

プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
海外に興味があって、留学もしてみたいと思っていたのですが、長期の留学は金銭的な理由や長い間海外で過ごすことの不安などでなかなか行く決心がついていませんでした。そこで、期間の短い留学プログラムがないか調べたところこのプログラムを見つけました。休学する必要がなく、渡航先もずっと行ってみたかったイギリスだったので思い切って参加することにしました。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
現地は英語圏なのでスマホアプリなどで会話表現や単語の正しい発音を学んだり、高校時代使っていた単語帳を使って単語の復習を行いました。
参加コースを選んだ理由
自分は芸術に興味があって、休みの日はよく美術館にいくのが趣味の一つです。自分が参加した Art of the World in London は芸術を詳しく学べるということで、自分にぴったりだと思いました。また、授業の一環でずっと行ってみたかった大英博物館やナショナルギャラリーなどに実際に行けるというのもとても魅力的だったのでこのコースにしました。

授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	１１人
授業内容を教えてください。	
授業の種類は、教室でのレクチャー、レクチャーの復習、美術館・博物館訪問、最終日のプレゼンテーションの４つで、３人の先生がローテーションで担当するという形でした。訪問は前日にレクチャーで扱ったアーティストの作品が展示されているところに先生と行って、実物を先生の解説を聞きながら鑑賞する形で、とても興味深かったです。最終日のプレゼンテーションはペアになって芸術に関するテーマを自分たちで決めて、パワーポイントで発表しました。自分のグループは美しさの基準をテーマに発表しました。	
授業のレベルを教えてください。	
授業は全部英語で、先生方はみな現地のネイティブなので、話すスピードも速めで聞き取るのに苦労しました。また、扱う内容が芸術なので、難しい単語も多く出てきたのでそういった単語の意味を理解するのも大変でした。抽象的なテーマを扱うことが多かったので自分の考えを英語で言葉にするというのもなかなか難しかったです。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
３人ペアになって、自分たちが「色」や「成長」をテーマに展覧会を開催するとしたら会場の形、どのような作品を展示するか、作品の見せ方、会場全体のコンセプト、などを自分たちで話し合って紙に書き出して発表するという授業がとても面白かった。	

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。
この海外交流プログラムでは、芸術に関する知識が深まったことのほかに、外国人とのコミュニケーション、自分の考えを英語で言葉にする、日本と海外の違い、伝わらないときはどうするか、など授業内容以外の点でもたくさん学ぶことがありました。こういった経験はやはり海外に実際に行かないと体験することはできないと思うので、経験できたことはかなり自分にとってプラスになったと感じています。海外に行ったことで、英語力に加えてメンタルも強くなりました。英語を使うということはこれからどんどん重要になってくると思うのでこのプログラムに参加したことをきっかけに、引き続き英語を学習して自分の英語力をもっと上げていきたいと思います。

その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
このプログラムの先生方がネイティブなのはもちろん、生徒たちもネイティブな外国人が多かったので、授業中は日本語を使う機会はないですし全く通用しませんでした。すべてを英語でこなさないといけないので、毎授業かなり疲れました。正直想像していたよりもかなりレベルが高く難しかったです。今後参加する人は出発前の英語学習（特に英語のリスニングと発音）はかなり力を入れたほうがいいと思いました。

明治大学情報コミュニケーション学部
2025 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　２年生・女性

渡航に関する情報

渡航期間
7 月 25 日　～　8 月 20 日
渡航経路
直行便 / 経由便 **経路：羽田（東京）―　ヒースロー（ロンドン）**
利用した航空会社
ANA
航空運賃合計額
291,410 円

プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック 2（7/28～8/15）	
参加コース名	
Environment, Development and Changing World Views	
プログラム費	**寮費（円もしくはポンドで記入してください）**
1,980 ポンド/1 ブロック	**1,400 ポンド**
寮滞在日数	
7 月 25 日　～　8 月 19 日（25 泊 26 日）	

その他費用に関する情報　**※円またはポンドで記入してください。**

食費（概算）	**370 ポンド**
海外旅行保険費用	**9,536 円**
交通費	**60 ポンド**
娯楽費	**417 ポンド**
その他（　　）	

滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
基本的に涼しい気候ですが、夕方になると少し暑く感じる時がありました。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
良かったと思います。特に危険を感じる場面はありませんでした。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
ハンガー（洗濯物を干すのに役立った）

プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
今まで海外に行ったことがなく、憧れがあったから。また、日本とは違った文化を体験することができるのとともに、英語力を伸ばすことができるのではないかと思ったから。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
積極的に英語の授業を履修した。
参加コースを選んだ理由
英語について学ぶだけでなく、英語を使って実際に授業を受けてみたいと思ったから。

授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	4 人
授業内容を教えてください。	
環境と開発についての専門知識を学び、それについてクラスで意見を出し合いながら理解を深めていった。最後には授業の内容に関するプレゼンテーションを行なった。	
授業のレベルを教えてください。	
先生はゆっくり、わかりやすく話してくださったので、内容は聞き取りやすかったと思う。ただ、専門的な知識を学ぶため、難しい単語がたくさん出てきて、意味を覚えるのが大変だった。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
Study trip で、クラスのみんなでロンドン・ウェットランド・センターに行ったこと。日本ではなかなか見れないような動物をたくさん見ることができた。自然豊かでとても美しい場所だった。	
プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。	
このプログラムでは、授業をただ聞くのではなく、自分はどう思うのかということをしっかりと考え、授業の中で発言したり、自分の意見を発表する場面が多くあったので、その習慣を今後学部での学びの際にも活かしていきたいと思う。	

その他

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
全体的に、とても楽しく過ごすことができました。大学が中心部にあるため、ロンドン観光は思う存分することができました。また、近くにはオシャレなカフェやレストランがたくさんあり、食べ物も個人的にはとても美味しいと感じました。ただ、プログラムに参加する学生の大半が日本人だったので、英語を話す機会は授業以外であまりなかったです。ただそれでも、普段出会うことのないような人々と出会うことができたので、とても良い経験になった思います。3 週間という短い期間でしたが、長く記憶に残るような良い思い出をたくさん作ることができました。

明治大学情報コミュニケーション学部
2025 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　３年生・男性

渡航に関する情報

渡航期間
８月１５日　～　９月９日
渡航経路
直行便　/ (経由便) **経路：成田―香港国際空港―ヒースロー**
利用した航空会社
キャセイパシフィック航空
航空運賃合計額
198,740 円

プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック３（8/18～9/5）	
参加コース名	
English Language Skills	
プログラム費	**寮費（円もしくはポンドで記入してください）**
1,980 ポンド/1 ブロック	**265,400 円**
寮滞在日数	
８月１６日　～　９月７日　（２１泊２２日）	

その他費用に関する情報　**※円またはポンドで記入してください。**

食費（概算）	**１５万円**
海外旅行保険費用	**２万円**
交通費	**４万円**
娯楽費	**１２万円**
その他（　　）	

滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
８月中旬は快晴日和で過ごしやすい気候でしたが、８月下旬から９月にかけて冷え込み急に雨が降ってはすぐ止むことが多かったです。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
危険を感じたことは一度も無かったです。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
役立ったもの：変圧器／　持参すればよかったもの：水筒　物価が高く水も日本の３倍近い値段がするので、大学及び寮にあるウォーターサーバーを使えば節約になります。

プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
今まで日本でアメリカ英語を主に学んできたので、イギリス英語にも触れてみたいと感じました。また、英語発祥の国で学べる事は貴重な経験だと思いました。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
１週間に３回ほどオンライン英会話を利用しました。また単語帳を使って語彙力の強化に努めました。
参加コースを選んだ理由
メディア及び国際関係に対する興味が薄く、主に英語を学びたかったため選択しました。

授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	English Language Skills は全体で１９人で、９人と１０人で２クラスありました。
授業内容を教えてください。	
授業は一日４コマありリーディングとライティングが２コマ、リスニングとスピーキングが２コマありました。前者ではニュースの記事や新聞を読んで設問に回答する授業でした。後者では先生の問いに対してディスカッションをしたり、英語の Youtube をリスニングしました。また最後の授業では１グループ３人で持続可能性についてのプレゼンテーションをしました。	
授業のレベルを教えてください。	
全体的に易しく感じました。どちらの先生も聞き取りやすいようにゆっくり喋ってくれましたし、生徒に対して問いかける際も長い文章を求めるのではなく単語で答えられるような問いかけをしていました。英語があまり得意でない学生にはおすすめです。英語が得意な学生は他のコースの方がレベルが高いのでいいかもしれません。先生はお二人ともとても優しかったです。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
授業の中で洋楽を聴いてリスニングテストをしたのが印象に残っています。また授業外でもネイティブ講師に発音や表現などで分からないことを聞けたことは大きな学びになりました。	
プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。	
今回の留学で学んだネイティブが使う表現やイギリス英語の特徴を今後の英語学習でも活かしていきたいです。	

その他

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
プログラムを通して特に辛かったことはマイノリティを経験したことです。イギリスは日本から遠いということもあり、大学外で日本人を見かけることはかなり稀でした。そのような環境下で疎外感を感じました。また、優しいひとが大半でしたが差別も２回経験しました。友達といるときはそのような経験はしなかったので、怖い方はあまりひとりで行動しないことがおすすめです。またイギリスは日本から遠いため金銭的余裕があれば直行便の利用をおすすめします。

明治大学情報コミュニケーション学部
2025 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　4 年生・女性

渡航に関する情報

渡航期間
8 月 12 日　～　9 月 12 日
渡航経路
直行便　/ (経由便) 経路：成田　ハノイ　ヒースロー　／　ヒースロー　デリー　羽田
利用した航空会社
ベトナム航空、エアインディア
航空運賃合計額
158,225 円

プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック 3（8/18～9/5）	
参加コース名	
Introduction to the Media	
プログラム費	**寮費**（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	246,057
寮滞在日数	
8 月 13 日　～　9 月 5 日　（23 泊 24 日）	
寮以外の滞在場所を利用した場合はこちらに記入してください。	
名称：LSE パスフィールド　ホール リンク：https://www.lse.ac.uk/student-life/accommodation/halls/passfield-hall	

その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	プログラム中 35,601 円、(他 9,506 円)
海外旅行保険費用	10,772 円
交通費	プログラム中 40,674 円、(他 56,383 円)
娯楽費	プログラム中 32,319 円、(他 35,433 円)
その他（ビザ、SIM、洋服　）	72,324 円

滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
一週目は夏らしい気候で日差しが強い日が多かったです。しかし、8 月後半からは気候の変動が激しく、寒い日が続くこともありました。

治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
夜はあまりで歩いていなかったのですが、大学周辺は治安が良いと感じました。とはいえ駅や観光地では警戒心を強く持っておいた方が良いです。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
日傘・レインコート⇒突然雨が降ることがあるため ティッシュ・ウェットティッシュ⇒食事や少し汚れが気になった時に便利です。 コンディショナー⇒硬水のシャワーは髪がバサバサになります。

プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
本プログラムに応募した理由は、自分にとって大切な価値観を探るためです。大学 2 年次に短期留学でフランスに滞在した際、自由で豊かな生き方に強く惹かれるようになりました。その後、英語の勉強や異文化交流や一人旅を経験したことで、自分の将来に必要な視野と価値観を育みたいという想いが強くなり、その機会として本プログラムに参加しました。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
イギリスと言えばハリーポッター！ということで、ハリーポッターの本を読み進めました。日常会話の練習をもう少ししておけばよかったなと感じます。
参加コースを選んだ理由
理由は大きく 2 点あります。1 つ目に、情報コミュニケーション学部の学生として、また来年から IT 業界で働く身として、メディアへの知見を深めたいと考えた事です。2 つ目に、機材を使って本格的な映像づくりができる点です。街の人へのインタビューもなかなかできない経験なので挑戦してみたいと思いメディアコースを決めました。

授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	13 人
授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）	
4 人チームで 5 分間の動画を作りました。専用のカメラとマイクを使って街頭インタビューをします。また、映像編集やボイスレコードの経験もでき、良い経験になりました。動画制作と並行して理論的な事も学びます。	
授業のレベルを教えてください。	
論理についての話は難しいと感じましたが、後半に連れて耳が慣れてきた感覚があります。Listening や Speaking に自信はなかったですが、分からなかったら質問して良い（逆に質問ウェルカム）な雰囲気がありましたし、発言しないよりも意欲を持って質問してくれることで先生も詳しく解説してくれました。一人ひとりのレベルに合わせて寄り添ってくれる先生方だったので大変助かりました。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
ロンドン市内にある映画アーカイブの施設(BFI)に撮影の交渉をしに行き、施設を利用している方々にインタビューした経験は忘れられないです。撮影を断られることもありましたが、映画について熱く語ってくれる方々が多く、とてもやりがいがありました。	

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。
学んだ事が多すぎるのでここでは語り切れませんが、メディアとの向き合い方、ニュースの見方、一つのことを深く追求していく貪欲さは今後も活かしていきたいです。また学校外での学びとしては、「面倒くさい」や「失敗するかも」を言い訳に逃げずに、とにかくたくさんチャレンジしていく姿勢を学びました。一つの行動から人との出会いや新たな発見に繋がることが多いと実感したため、今後もこの姿勢を意識していきたいと考えています。

その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
クラスのほとんどが日本人だったので、授業内では英語を話す、学校外でもできるだけ英語を使うということを意識していました。安心できる環境だとは思いますが、目的をもって日々過ごしていかないとただの旅行と同じになってしまいます。この点は一番気を付けていました。 イギリスの公共交通機関は日本と比べるとかなり不便です。今回ロンドンでは大規模ストが起こり、5 日間ほど地下鉄が利用できませんでした。他にも、郊外へ向かう列車が 20 分遅延するのは頻繁にあり、遅延のせいで乗り継ぎの電車に間に合わない場面も出てくるかと思います。周りの人や駅員の方に頼りながら是非国内旅行をしてみてください。私はエディンバラとアイルランド（フェリーを使いました）へ一人旅をすることができ、良い経験ができました。